

製品番号と仕様をご確認ください。 ※お客様でのトルク設定は不要です。

この度は弊社製品弓形トルクレンチ、ストレート形トルクレンチをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

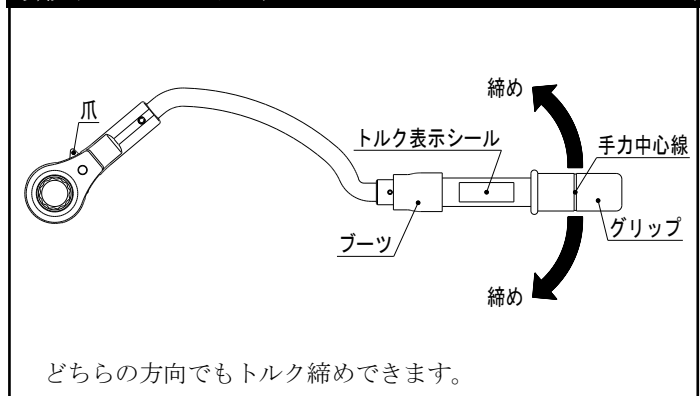
本製品を正しくご使用頂く為に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになられた後もお使いになる方がいつでも見られる様に大切に保管してください。

製品番号		設定トルク値 (N・m)	トルク精度 (%)	ボルトサイズ (対辺寸法)
弓形トルクレンチ	ストレート形トルクレンチ			
RM-24LYNT	RM-24LST	60	±3	M16(24mm)
RM-30LYNT	RM-30LST	100	〃	M20(30mm)
RM-36LYT	RM-36LST	140	〃	M24(36mm)
RM-46LYT	RM-46LST	200	〃	M30(46mm)

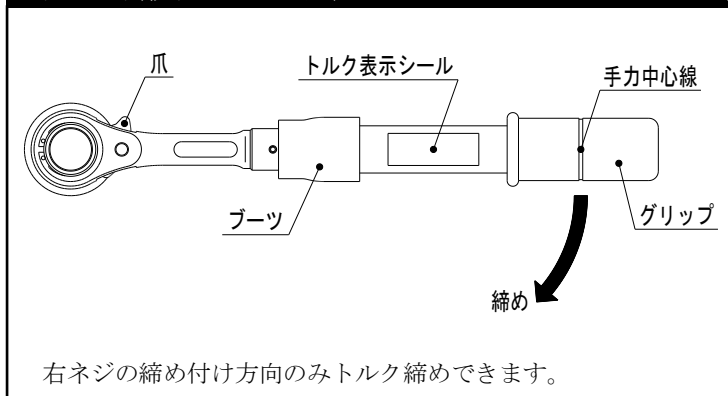
設定トルク値以外のトルク値でも特注対応します。

1. 製品仕様

弓形トルクレンチ (RM-24LYNT・30LYNT・36LYT・46LYT)

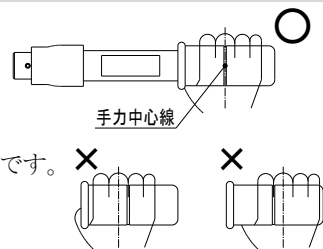


ストレート形トルクレンチ(RM-24LST・30LST・36LST・46LST)



2. 使用方法

- 水道本管フランジ部のナットにソケット部を差込みます。
- グリップ部の手力中心線(上図参照)に中指がくるように握り、ボルト・ナットを駆動します。
この時、手力中心線からずれて握るとトルクに誤差が出ますので注意してください。(右図参照)
- はずみをつけず『ゆっくり』と力を掛けてください。
- 繰り返し駆動し、『カツン』という音、または手に軽い『ショック』を感じたら、締め付けは完了です。
- トルク値に達したら、すばやく力を抜いてください。
そのまま締め付け続けるとオーバートルクになります。
- 作業前にテスト打ちをしてください。初めの数回は、本体トルク機構がなじんでいないので、トルク値が安定しません。



3. 注意事項及び点検、保守

- ブーツ及びグリップは防水対策を兼ねておりますので、外したり、傷付けたりしないでください。トルク機構部のサビ・故障の原因になります。
- 使用中に万一ブーツ及びグリップが外れたり、傷付いた場合は、市販されているゴム用途の接着剤等で防水補修してください。
もし紛失または修復できない場合は、修理(有償)いたしますので、下記営業所かご購入された販売店まで製品をお送りください。
- 『カツン』という音、または手に軽い『ショック』が感じられなくなった時は故障です。修理・点検を受けてください。(有償)
オーバートルクを掛けた場合、トルク値に狂いが生じ易くなります。
- ラチェット頭部は特に泥水等の中で使用し、泥が付着した場合は、水道水等で洗い流し、水分を良く拭き取り、乾燥させ、注油してください。
- サビ付いたボルト・ナットを緩める場合は、設定トルク値以上の力を掛けしないでください。破損及びトルク値が狂う恐れがあります。
- ストレート形トルクレンチは右ネジのボルト・ナットの締め付けのみトルク設定されております。左ネジの締め付けでのご使用にはトルク設定されておられません。
- 校正証明書及びトレーサビリティが必要な場合は、有償で対応します。
- ボルト・ナットに合ったサイズを使用し、斜め掛け・浅掛けはしないでください。
- 工具の使用目的以外には使用しないでください。

検査表

弓形トルクレンチ	ストレート形トルクレンチ	トルク機構部精度
RM-24LYNT	RM-24LST	60N・m / ±3%
RM-30LYNT	RM-30LST	100N・m / ±3%
RM-36LYT	RM-36LST	140N・m / ±3%
RM-46LYT	RM-46LST	200N・m / ±3%

検査日 _____
使用開始日 _____



検査の結果、設定トルクは上記規格内に入っております。

日常点検

- 1.トルク作動時の『カツン』という感触が普段ご使用時と異なる反応が出ましたら、トルク値に変動の恐れがありますので、お買い求めの販売店より点検・修理をお願いしてください。(有償)
- 2.ご使用開始日より1年または5,000回締め付け毎に1回、当社で再校正することをお勧めいたします。(有償)

セット品をお買い上げ頂いた方は、お使いになる前に必ずお読みください

TOP 水道本管用弓形トルクレンチ(単能型) + 延長ソケットセット(RM-24LYNTS・30LYNTS) 取扱説明書

水道本管用ストレート形トルクレンチ(単能型) + 延長ソケットセット(RM-24LSTS・30LSTS)

製品番号と仕様をご確認ください。 ※お客様でのトルク設定は不要です。

この度は弊社製品弓形トルクレンチ+延長ソケットセット、ストレート形トルクレンチ+延長ソケットセットをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用頂く為に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになられた後もお使いになる方がいつでも見られる様に大切に保管してください。

製品番号	設定トルク値 (N・m)	トルク精度 (%)	ボルトサイズ (対辺寸法)
弓形トルクレンチ+ソケットセット			
RM-24LYNTS	60	±3	M16(24mm)
RM-30LYNTS	100	"	M20(30mm)
ストレート形トルクレンチ+ソケットセット			
RM-24LSTS	60	"	M16(24mm)
RM-30LSTS	100	"	M20(30mm)

設定トルク値以外のトルク値でも特注対応します。

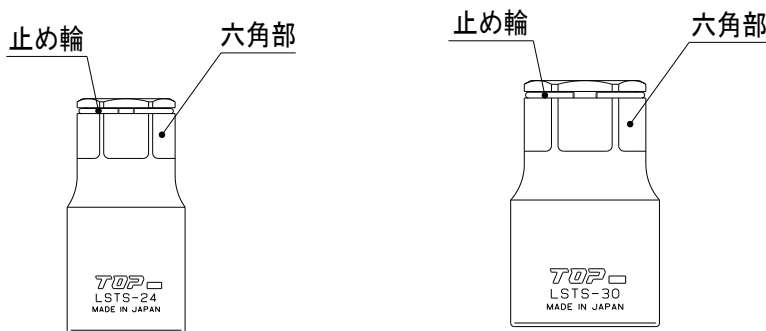
1. 製品仕様

※弓形トルクレンチ(RM-24LYNT・30LYNT)及びストレート形トルクレンチ(RM-24LST・30LST)は表面をご参照ください。

延長ソケット (LSTS-24・LSTS-30)

弓形トルクレンチ、ストレート形トルクレンチのソケット部に延長ソケットの六角部を利用して50mm 延長できます。ボルトの突き出しが長い環境においてもお使い頂ける貫通タイプです。

脱落防止の為、止め輪が装着されています。

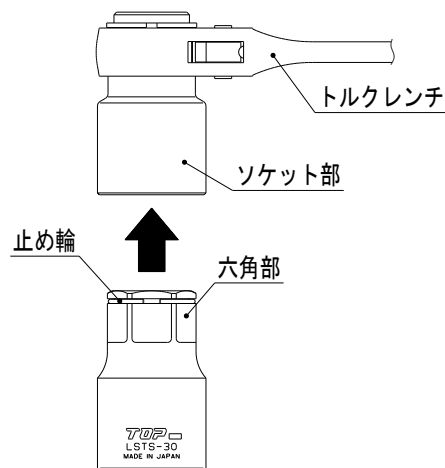


2. 使用方法

延長ソケットの装着方法

- 弓形トルクレンチ、ストレート形トルクレンチのソケット部にサイズのあった延長ソケットの六角部を挿入してください。(右図参照)
※挿入しづらい場合は、レンチのソケット部に対し、延長ソケットの六角部を若干斜めに挿入し、止め輪を縮ませながら入れていくと入れやすいです
- トルクレンチのソケット部に延長ソケットの六角部がしっかりと装着されたことを確認してから作業してください。
※延長ソケット装着によるトルク損失はほとんどありません

※弓形トルクレンチ(RM-24LYNT・30LYNT)及びストレート形トルクレンチ(RM-24LST・30LST)の使用方法は表面をご参照ください。



3. 注意事項及び点検、保守

※弓形トルクレンチ(RM-24LYNT・30LYNT)及びストレート形トルクレンチ(RM-24LST・30LST)は表面をご参照ください。

- レンチに装着の際は、12角ソケットのレンチを使用してください。6角ソケットへの装着はできません。
- ボルト・ナットに合ったサイズを使用し、斜め掛け・浅掛けはしないでください。
- ご使用前に、延長ソケットの六角部がレンチソケットにしっかりと装着したことを確認してから作業してください。
- 工具の使用目的以外には使用しないでください。

TOP

トップ工業株式会社

● E-mailアドレス info@toptools.co.jp

● URL <http://www.toptools.co.jp>

本社	〒955-8678	新潟県三条市塚野目 2190-5	TEL (0256) 33-1681	FAX (0256) 34-7617
東京営業所	〒103-0001	東京都中央区日本橋小伝馬町 4-2	TEL (03) 3666-2489	FAX (03) 5645-5314
大阪営業所	〒577-0012	大阪府東大阪市長田東 2丁目 3-3	TEL (06) 6744-8841	FAX (06) 6744-8911
名古屋営業所	〒460-0012	愛知県名古屋市中区千代田 2-7-1	TEL (052) 252-0728	FAX (052) 269-1065
仙台営業所	〒984-0031	宮城県仙台市若林区荒井5丁目5番地の1-101	TEL (022) 390-5650	FAX (022) 390-5670
札幌営業所	〒065-0026	北海道札幌市東区北二六条東五丁目 2-14	TEL (011) 743-8291	FAX (011) 743-8290
三木営業所	〒673-0402	兵庫県三木市加佐 269-5	TEL (0794) 86-2642	FAX (0794) 89-0015
埼玉営業所	〒331-0802	埼玉県さいたま市北区本郷町 629	TEL (048) 653-1281	FAX (048) 653-1286
福岡営業所	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑 1-3-13 サンライ村上 102号	TEL (092) 502-8404	FAX (092) 502-8405
神奈川営業所	〒252-0005	神奈川県開成さがみ野 21-30 さがみ野グランドマンション1階	TEL (046) 252 6131	FAX (046) 252 6133